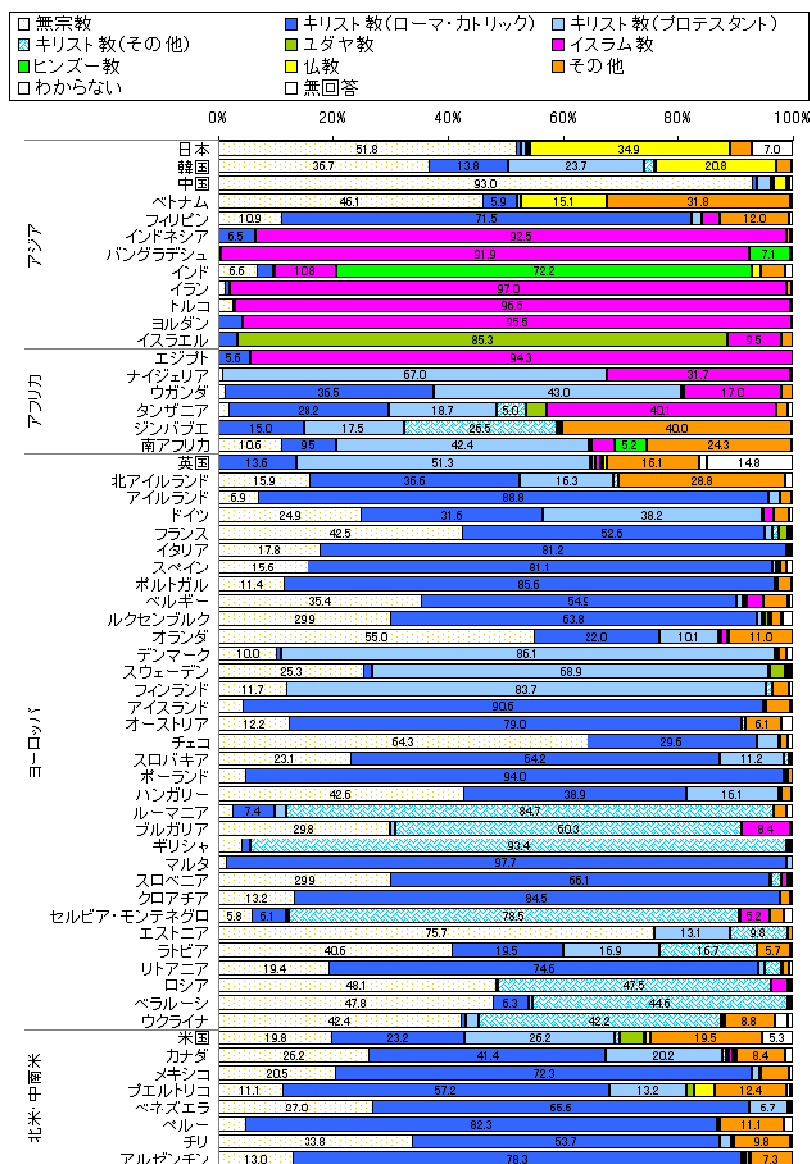


先人の言葉から学ぶ（16）

幸福なるかな、心の貧しき者。天国は
その人のものなり。・・・聖書（その1）

1 世界の宗教別信者数の割合

世界各国の宗教(2000年)



(注) 各国の全国18歳以上男女1,000サンプル程度の回収を基本とした意識調査の結果である。

数字は5%以上のみを表示。

(資料) 電通総研・日本リサーチセンター編「世界60カ国価値観データブック」

この表は、国別の百分比となっているものの、信用性からは大ざっぱに過ぎる数字とあってよい。別の資料によれば、日本の場合なら神道が1億7000万人、仏教は9800万人と両方にカウントされている場合もある。概数としての表ということ。

2 宗教別の人口比

宗教	人口	割合	
キリスト教	2254000000	33.4%	0.33394572
イスラム教	1500000000	22.2%	0.22223539
ヒンズー教	900000000	13.5%	0.13334124
無宗教	769000000	11.4%	0.11393268
中国の伝統的な宗教	387200000	5.7%	0.05736636
仏教	384000000	5.7%	0.05689226
土着	270300000	4.0%	0.04004682
無神論	148300000	2.2%	0.02197167
新宗教	107000000	1.6%	0.01585279
シーク教	23800000	0.4%	0.00352613
ユダヤ教	15090000	0.2%	0.00223569
心霊主義	13660000	0.2%	0.00202382
バハーイ教	7860000	0.1%	0.00116451
儒教	6410000	0.1%	9.4969E-04
ジャイナ教	5570000	0.1%	8.2523E-04
道教	3370000	0.1%	4.9929E-04
神道	2780000	0.0%	4.1188E-04
ゾロアスター教	180000	0.0%	2.6668E-05
その他	1340000	0.0%	1.9853E-04
合計	6749600000		

3 キリスト教とは

(1) ナザレのイエスとキリスト教

世界人口の3分の1、23億人近い信者を擁するキリスト教は、西欧の文化や覇権と共に世界史の中に顕然たる存在感を示してきた。

キリスト教は、ナザレに生まれたイエス（BC4年頃～AC28年頃）をキリスト（救い主）とし、イエスの説いた教えを信仰する宗教である。

イエスは「主」（全能の父）から遣わされ、人間としての肉体を得て、その教えと言葉をもって人々を救いに導き、神の国の福音を説き、罪ある人間を救済するため十字

架にかけられて死に、その3日後に復活し昇天したという。

キリスト教は、父と子と聖霊を三位とし、三位の全てが神の現れで、本来は一体であるというのが教義で、これを「三位一体」という。したがって、キリスト教は唯一神を信仰する一神教で、多神教や偶像崇拜を行う宗教と対立する。

主とは、天地創造主で全知全能の神である。イエスは、神からこの世に遣わされた神の子で、聖母マリアから生まれた。聖霊とは、神と人とを執り成し、イエスの生誕に関わり、聖霊によって人は内面から刷新浄化され、罪から逃れ善良なる行いを得ことできるとしている。

(2) キリスト教歴史の概略



聖カタリナ修道院（シナイ半島）所蔵絵画のキリスト画図

古代イスラエル人、ユダヤ人の間で最初に生まれた宗教はユダヤ教で、基本的にはイスラエルの神という民族宗教であった。そこからキリスト教とイスラム教が分派し発生するが、旧約聖書（古い契約の書）はユダヤ教と共にキリスト教の正典であることを考えれば、大きな関連性がある。その意味では、バラモン教と釈迦による仏教の成立との類似性を見ることができる。

数々の教えを説き、多くの奇跡（常識では考えられない人智を超えた出来事）を残しながら、イエスは人々に代わって罪を背負い、処刑された後に復活して昇天する。キリストが去った後は、ペテロを始めとする多くの弟子（使徒）たちによってその教えは継承され、宣教（初期キリスト教運動）されていったのが起源である。

ユダヤ教との分離意識が明確となり独自性を持つのはAC70年頃からとされている。

ローマ帝国統治下では禁教とされ、信徒は弾圧を受けるが、392年に公認された後は、ローマの国教となった。

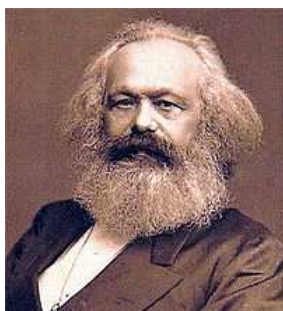
しかし、この頃からキリスト教は内部分裂し、宗派間の争いを繰り返してきたが、顕著なのは

1054年の東西分裂で、これによって東はギリシャ正教、西がローマカトリック教会となった。

その後時代を経て、ドイツ人の神学教授だったマルティン・ルター（Martin Luther、1483～1546）によって信仰と思想において宗教改革という転換をもたらし、他にもフランス人のジャン・カルヴァン（Jean Calvin、1509～64年）などの改革運動はヨーロッパ全域に広がる。これがプロテスタント（抗議する人の意）改革、即ちカトリック（旧教）に対する新教として支持を得ていくことで、近代ヨーロッパのヒューマニズム

ム興隆や政教分離へと進展する起因を造る。

(3) マルクス主義とキリスト教



カール・マルクス

フランス革命などの市民革命運動によって、西ヨーロッパ社会は揺れ動き、民衆の教会離れをもたらす一方、プロセン王国出身（現在のドイツ）で、イギリスを主な活動の舞台とした革命家のカール・マルクス（1813～83年）は、『聖書は神聖だが、宗教はアヘンと同じ』としたマルクス主義（共産主義）の提唱は、キリスト教と競合する社会運動となった。

これらの状況下で、各派共に対抗手段を講じながら地盤維持のため運動を展開している。

(4) 日本におけるキリスト教宣教の歴史

日本でキリスト教が知られたのは6世紀後半から7世紀初頭、朝鮮半島を経由して渡来した漢人の秦河勝（生没年不詳）であると伝わるが、これは単に存在が紹介されたに過ぎないだけであろう。



フランシスコ・ザビエル画像

宣教の始まりは、1549年に来国したカトリック司教のフランシスコ・ザビエル（1506～52年）で、西日本を中心に信徒を確保する。

治世者の中では、織田信長（1534～82年）は布教に好意的であり、豊臣秀吉（1537～98年）は当初は保護したが信徒やポルトガル人に対する不信感から宣教師の国外追放と宣教を禁止した。徳川家康も初め寛大な態度をみせるが、1912年に禁止令を出した。

寛永14年（1637年）の「島原の乱」では、事態を重くみた幕府の禁教政策は一層徹底し、これが切っ掛けとなって1639年には「寛永の鎖国令」を発している。

なお、

ザビエルは中国広東省で46歳の生涯を閉じ、その後、聖人に列せられた。死後60年を経過した身体（聖体）から右腕が切り離されたとき、傷口から鮮血が流れ出るという奇跡を起こし、この「ザビエル奇跡の右腕」は、平成11年（1999年）日本でも公開されている。

明治新政府は、欧米諸国からキリスト教弾圧を厳しく非難言及されると、明治10年（1877年）にやむなく禁制を解除した。



公開されたザビエルの右手

大戦前と戦時中は、帝国主義政策に協力させられる形で妥協を余儀なくされるが、一部抵抗者に対する処刑も行われている。

戦後は、連絡組織としてカトリック、プロテスタントが合同して「日本キリスト教協議会」を結成しており、他にも救世軍活動や福音派の活動もあった。

しかし、我が国における信者数は約 120 万人程度で、国民総人口数の 1% という数字は世界中でも特に低い。その理由は、単に幕藩体制下における禁教政策ばかりが影響しているとは考え難く、国民（民族）的傾向の中の何が作用しているのだろうか。

なお、キリスト教から異端とされている教団の国内信者数は、「モルモン教」の 12 万人、「エホバの証人」が 22 万人、「世界基督統一神霊協会」は国内教会数 286 箇所であるが信者数は未公表となっている。

3 聖書について

(1) 聖書と他教の聖典

聖書は、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖典であると前段で述べた。

ユダヤ教では「タナハ」を聖典と称しているが、これは旧約聖書と章の配列が違うだけで内容は同じで、紀元前 4 世紀までに書かれた律法と呼ばれる文書を中心に、歴史、詩文、知恵文学から構成されており、古代イスラエル、オリエントにおける特定グループによる文学活動の諸書と預言書が含まれるが、新約聖書は聖典としていない。

イスラム教は新旧の両聖書とコーランを聖典とし、特に「モーゼ五書」といわれる旧約聖書最初の 5 章、「創世記」、「出エジプト記」、「レビ記」、「民数記略」及び「申命記」がそれで、これらは「コーラン」に次いで重要視されている。

ユダヤ教聖典の現存する最古の写本は、紀元前 150 年以降に書かれたと推定される「死海写本」というもので、1947 年に発見された 972 の写本群の総称である。この写本は、死海の北西の遺跡で見付かりヘブライ語で書かれており、『20 世紀最大の考古学発見』といわれた。



死海写本の一部

聖書は、バイブルともいわれる。その意味は書物の複数型である。旧約聖書はキリスト生誕以前の預言者と神との契約、新約聖書はキリストの言葉や奇跡を行った事柄を、死後イエスの弟子たちによって書き残されたもので、イエスを救世主とする神との新しい契約を意味する。

印刷技術のなかった時代は、聖書は一部の人たちだけの希少価値であったが、ドイツ人のグーテンベルグ（1398～1468 年）による印刷機の発明後は、印刷技術によって普及し、ようやく大衆の手の届くものとなり、世界最大のベストセラーとなっている。

(2) 日本における聖書の翻訳

我が国においては、永禄6年（1563年）に新約聖書の内4つの福音書が、慶長18年（1613年）にはその全部の翻訳が完成し版刷りされたのに始まる。

長い鎖国の後、安政5年（1859年）日本が開国されると、宣教師たちの動きが始まる。明治維新を経て明治13年（1880年）に「新約聖書」が、明治20年（1887年）に旧約聖書の翻訳が完成した。この聖書は和漢混交体で、後に「明治元訳」といわれた。

その後、大正6年（1917年）「改訳新約聖書」が出版され「大正改訳」と呼ばれ、「明治元訳」から発展して文語体の読み易い語文となったが、旧約聖書の改訳にまで至っていない。「大正改訳」の新約聖書は、世界各国語の数ある翻訳聖書の中で、際立った名訳との評価を得ている。

戦後の昭和29年（1954年）には口語訳聖書が出版されたが、内容的に不備はないとしても、戦後における漢字制限と国語表現、それに教義上の偏向など諸問題が重なり評価が芳しくなかったため、昭和48年（1973年）に「新改口語訳聖書」が出版されることになった。

(3) 聖書と仏教経典

明治時代の和漢混交体からスタートした聖書は、現在の新改口語訳聖書まで、読めば容易に理解可能な文体となっている。

一方で、日本に伝わる仏教の歴史を辿れば、1世紀頃に大乘仏教が中国に伝わり、朝鮮半島を経て6世紀半ばに日本に伝来したとされている。

その経典（お経）は、サンスクリット語やパーリ語の仏典から、中国語で翻訳された漢語によって構成され、訳された漢語のままの文章で移入された。

漢語経典の作成で特筆されるのは鳩摩羅什〔くまらじゅう。龜茲国（きじこく）生まれ。344～413年）で、8年足らずの間に300巻を訳している。時代は下がるが、玄奘三蔵（げんじょうさんぞう、西遊記の三蔵法師。602～664年）の業績と合わせて、二人は二大訳聖僧といわれている。

日本では、仏教の伝来以降、変わらず漢語訳の経典を使用し、国語訳の経典作成には至っていない。

仏教経典は難解極まりない漢字の羅列であるため、解説なくして理解は難しい。その理由を列挙すれば、

- ① 中国で使われる漢語にしても時代が古く、時の移り変わりに伴う使用法や傾向に変遷があるため、古い時代の字句の解釈と読み（呉音読み）を知らなければならぬ。
- ② 中国語は、文法上から日本語と配列の語順が違う。
- ③ サンスクリット語やパーリ語からの漢訳の他に、音写（原語の読みをそのまま漢字に置き換える）もある。音写だけの経文は「陀羅尼經」といわれ、原語のまま呼んだ方が最も適切と判断された場合のことであろう。
- ④ 一般に読まれる「般若心經」は玄奘三蔵の訳だが、漢語訳と音写が半々位になっ

て混在している。

- ⑤ 音写で注意すべきは、中国で当時の発音によって漢字を当てているが、その漢字を日本語発音で読むため、実際の実語発音と乖離している。

我が国の文字の歴史は、漢字を使用するようになってから独自に発展させた片仮名と平仮名を生み出し、話し言葉を巧み装飾して文章化する古代人の叡智と、文章に対する美的感覚は素晴らしい。

また、漢字の移入以降、明治時代初期まで公用文や改まった文章を書く時は漢文を用いていたことを考慮に入れれば、漢字の持つ文化的な価値に対して、我が国はいかに位置付け尊重してきたか理解できよう。

一般人には難解であっても、仏典が伝わったときそのまま読み上げる方が、威厳と荘厳さにおいて勝ったのではと推察できる。

僧侶や知識豊かな人を除けば理解に難しいお経だが、口にする機会の多い「懺悔文」を例に記してみよう。

『我昔所造諸悪業 皆由無始貪瞋痴 従身口意之所生 一切我今皆懺悔』(がしゃくしよぞうしよごう かいゆうむしとんじんち じゅうしんくいししよしょう いさいがこんかいざんげ) と読まれても、直ぐには意味不明である。

訳せば、『私が昔より造り行ってきた諸々の悪しき行いは、始めも知れぬ過去からの貪(むさぼ)り、瞋(いか)り、痴(おろか)さのために、身(からだ)と言葉と意(こころ)より生じたものです。今、全てを御仏を前に真心から悔い改めます』となるのです。

更には、日本語経典が作成されなかったもう一つの問題点として、後の研究者は漢語訳の仏典に多くの誤訳がある指摘している。これは鳩摩羅什の粗製乱造の翻訳作業からきたと判定はできないが、改めて日本語改訳に着手すれば多くの問題を発生させる危惧もあったからと思われる。

中国には、サンスクリット語の仏典がほとんど残っていないという。でも、我が国には多くのサンスクリット語仏典が残っていることも見逃せない事実である。

(つづく)